



それぞれの未来に向かって出発

冬の厳しい寒さが徐々に和らぎ始めた3月、こども園ひがしどおり、東通小学校、東通中学校において、卒園・卒業式が挙行されました。

こども園ひがしどおりでは、園児50人が緊張しながらも堂々とした様子で、坂崎隆浩園長から卒園証書を受け取りました。

卒園児のお別れの言葉では、こども園での思い出を振り返り、寂しそうな表情も見せていましたが、式の最後には小学校生活に期待を膨らませ、笑顔でこども園を巣立っていきました。

東通小学校では、卒業生49人が四戸浩校長から、6年間の小学校生活を経て成長した、立派な姿



で卒業証書を受け取りました。「旅立ちの詩」では、運動会や修学旅行など6年間の思い出を語り、在校生へ東通小学校の未来を託しました。

東通中学校では、卒業生54人が古里利行校長から卒業証書を授与され、それぞれの進路に向かって羽ばたいて行きました。

「別れの詩」では卒業生が、先輩や仲間と別れる寂しさから、時折り涙で声を詰まらせながら、東通中学校での3年間を糧に、それぞれの道を力いっぱい歩いていくと誓っていました。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。



ご卒業おめでとうございます！

